

愛知県産業労働計画策定委員会（平成26年10月17日）における主な意見要旨

- 枠組みについては肯定的な意見が多かったが、個別の項目については今後部会で掘り下げる必要があるとする意見が多かった。
- 小規模事業者支援や人材育成、観光振興、女性・障害者・若年者雇用、ワーク・ライフ・バランス等に関する意見が多くあった。

（中小企業・小規模事業者対策等）

- ・小規模事業者の強化が外だしされたのはありがたい。（複数意見）
- ・小規模事業者が年々減少しており、いかに活性化するかが大切。
- ・中小企業が単独では難しいキャリアアップ支援などに力を入れてほしい。
- ・中小企業支援機関の相互連携強化策について、役割分担も含め検討してほしい。（複数意見）
- ・中小企業支援センターに求められる役割について検討してほしい。
- ・「やる気のある」「意欲のある」というキーワードを入れてほしい。
- ・商店街は地域コミュニティの担い手、人材育成が課題。後を継ぐ人がいない。
- ・「魅力ある商店街づくり」が課題。街づくりという観点から議論をすることが必要。
- ・農商工連携では「工」に付加価値をつけた「カイゼン」「自動化」が重要。生産技術革新により中小にも参入の余地がある。
- ・販路開拓におけるWEB活用の検討をお願いしたい。

（次世代産業の育成強化等）

- ・ソーシャルビジネスについて入れてほしい。
- ・従来から力を入れてきた分野(中小企業支援、次世代産業育成)は、引き続きお願いしたい。
- ・次世代産業に農業がない。
- ・高齢者や福祉産業が含まれていない。
- ・静脈産業が入っていない。再生資源の産業は将来大きな核になる。
- ・プログラミング能力が重要になる。どうしていくのかを考える必要がある。
- ・IT, ICT がでてこない。
- ・FCVの普及支援に、EVは含まれないのか。
- ・次世代旅客機のイメージがわからない。

（グローバル展開・国内立地等）

- ・グローバル展開は「企業が輝く」に分類されるのではないのか。
- ・グローバル化では、言葉が重要。取引条件にもなっている。
- ・国内で生産し、世界から仕事を取ってくることもグローバル化。
- ・国内立地環境の整備は、県内ではないのか。

（観光・交流の促進）

- ・アジアからの増大する観光客をどう取り込むかが課題。
- ・産業観光の視点が重要。
- ・半島部の活性化が重要。
- ・リニアを睨んで、首都圏や近畿圏を意識する必要がある。
- ・働きやすさ、住みやすさも考えないと人が足りなくなる。

（就業促進等）

- ・障害者の就業促進では、学校との連携が大事。障害者については踏み込んで話してほしい。
- ・非正規労働者の正社員化は多様な働き方を目指す方がいいのでは。
- ・非正規労働者という表現は、非正規雇用労働者という表現に改めたほうがいい。
- ・在宅就労支援（多様な就業支援）を入れるといい。
- ・学校（大学、専修学校）との連携も入れるといい。（複数意見）
- ・若年者の早期離職対策は支援が少ない。
- ・建設、介護等の人手不足については、他部局とも連携して進めてほしい。
- ・早期離職対策は重要であるが、一律の対策は困難。再チャレンジ可能な仕組みを入れてほしい。
- ・5年の内にはまた不況が来るとしておくべき。雇用の確保も入れておいたほうが良い。

（ワーク・ライフ・バランスの促進）

- ・ワーク・ライフ・バランスの柱が広義に捉えすぎ。労働相談や労働環境の改善が捉えにくい。
- ・ワーク・ライフ・バランスでは、住環境の優位性、食文化の豊かさをPRするとよい。
- ・ワーク・ライフ・バランスは働き方そのものを考えないといけない。柱としては残してほしい。
- ・女性の支援では、個々の女性で望むものが違うので、多様な働き方に対する支援も充実させてほしい。
- ・女性・高齢者の活躍には、障害者も含むべき。（複数意見）

（人材育成・人口減少）

- ・人口減少の中、人材育成・確保が重要。（複数意見）
- ・背景にある、高齢化・後継者不足にも光をあてる議論をしてほしい。
- ・人材の育成では、学校教育に踏み込む必要がある。（複数意見）
- ・人材育成では、行政、企業、本人の当事者を明確にすることが必要。
- ・現場、理系の人材が足りない。子供の頃から理系、ものづくりへの興味を高める雰囲気づくりを地域で進めることが重要。
- ・首都圏からのUターン人材誘致、産業観光分野の人材育成も入れたほうが良い。
- ・労働生産性をいかにあげていくかが重要。

（その他）

- ・我々の目指す方向性と一致しており、全体としてはこれで良い。
- ・目指すところは、幸せが見えるビジョン。柱立てはいい。
- ・TOKAI VISIONの柱に沿っており、柱立てはいい。
- ・県内の市町村や近隣県、まち・ひと・しごと創生本部のビジョンを踏まえて検討してほしい。
- ・広域経済圏の議論が出ていないのはいかがなものか。
- ・全部を愛知県ではやれない。近県との連携を。
- ・県、市町村、経済団体が一体となった取組についても議論してほしい
- ・連携も重要だが、役割分担も考えないといけない。
- ・地域・企業・人は並列ではなくトライアングルになる。
- ・あいちビジョンの12の政策課題から地域・企業・人につながる線に無理がある。防災・防犯等は地域ではないのか。
- ・このビジョンは、発展の方向性を示すもので、網羅的な計画を作る訳ではない。